

庄内地域保健医療協議会 在宅医療専門部会の検討状況

1 在宅医療専門部会の開催（令和4年度第1回）

【日時】 令和5年2月17日（金）18:30～20:05 ZoomによるWeb開催

【内容】 （1）庄内地域入退院ルールアンケート調査について（報告）

（2）県内における看取り加算等の状況について（報告）

（3）在宅医療の拡充に係る主な取組みについて（協議）

2 内容の詳細

（1）庄内地域入退院ルールアンケート調査について

- 平成31年4月から運用を開始した当該ルールの実態を把握するためのアンケート調査について、調査の内容及び調査結果の概要を事務局から報告した。

（2）県内における看取り加算等の状況について

- 在宅医療提供体制の4機能毎の主な現状・課題や、看取り加算の件数等のデータについての全国、本件、県内二次医療圏ごとの比較結果について事務局から報告した。

（3）在宅医療の拡充に係る主な取組みについて

- 庄内地域における各種団体、市町、保健所による在宅医療の拡充に係る主な取組みについて説明し、情報共有を図るとともに課題について協議した。

3 主な意見等

- 研修会や会議は、Web会議や医療情報ネットワーク等のツールを活用し、コロナ禍でも工夫しながら実施している。一方、地域の通いの場が途絶えた状態が続き、一人暮らしの高齢の方が閉じこもる傾向が見え、孤立してしまうこともあった。
- 施設では、コロナで面会が制限されることで、本人だけではなく家族の精神的な負担も大きかった。今後、感染症法上の位置付けが変更される中でも、施設での生活を支えていかないといけない。
- 支援が必要な方は、医療・介護・生活など様々なニーズを複合して抱えていることが多く、多職種が連携し、チームで取り組むことが非常に重要。
- 多職種の意見交換会等を通じ、繋がりを作っていくことが必要。